

2026 . Aug .

vo1. 7



奈良県立医科大学附属病院

Nara Medical University Hospital

地域連携・入退院支援センター 広報誌

地域医療連携 だより



今年度の連携登録医のつどいにて本学新キャンパス
図書館ツアーを計画しています！詳しくは本誌5ペー
ジをご覧ください。



▲奈良県立医科大学 図書館

topics

- ・センター長挨拶 …3
- ・口腔外科 教授就任挨拶 …4
- ・第8回連携登録医のつどいを開催いたします …5
- ・第21回地域医療連携懇話会開催報告 …6
- ・診療科からのお知らせ …8
- ・リウマチセンターのご紹介 …9
- ・令和7年度実績 …10
- ・地域連携・入退院支援センターより …12



理念

患者と心が通い合う人間味あふれる医療人を育成し、地域との緊密な連携のもとで奈良県民を守る最終ディフェンスラインとして、安全で安心できる最善の医療を提供します。

1 奈良県民を守る「最終ディフェンスライン」の実践

奈良県内唯一の特定機能病院として高度医療・先端医療を推進します。また高度救命救急センターに加え、ER救急の整備等により救急医療体制を強化するとともに、奈良県基幹災害拠点病院として、奈良県民を守り地域の安心の確保に貢献します。



方針

2 奈良県内基幹病院としての機能の充実

5 疾病（がん・脳卒中・急性心筋梗塞・糖尿病・精神疾患）をはじめとするあらゆる疾患に着実に対応するとともに、患者安全の取組を推進し、奈良県内基幹病院としての役割を果たしていきます。

3 地域医療機関との機能分担、緊密連携の推進

地域医療機関との適切な機能分担と緊密な連携を推進し、地域医療を支えます。

4 各領域の担い手となる医療人の育成

附属病院における卒後教育を通じて、超高齢社会に対応する地域包括ケアシステムをはじめ各領域の担い手となる患者と心が通い合う医療人を育成し、地域医療の向上に貢献します。



行動指針

- 病状や治療方針を分かりやすく説明し、安全で質の高い医療を提供します。
- 高度で先進的な医療を提供します。
- 医の倫理にしたがい、患者さんの意思と権利を尊重し、心の通い合う医療を提供します。
- 県における基幹病院として、地域の医療機関との連携を図り地域医療に貢献します。
- 臨床教育を充実し、人間味豊かで県民から信頼される優秀な医療人を育成します。

ご挨拶

地域連携・入退院支援センター長
循環器内科 教授

彦惣 俊吾



このたび、令和8年4月より吉治仁志先生の後任として、地域医療・入退院支援センター長を拝命いたしました循環器内科学の彦惣俊吾です。

平素より当院の診療ならびに地域医療連携に特段のご理解とご協力を賜り、心より御礼申し上げます。

当センターは、平成19年に設置された地域医療連携室を基盤として発展し、現在では医師、看護師、社会福祉士、事務職員など約50名のスタッフが、紹介患者様の受診予約、退院支援・退院調整、地域連携パスの運用、連携登録医制度の運営、広報活動など、多岐にわたる業務を担っております。これらの活動を円滑に進めることができますのは、ひとえに地域の医療機関の皆様をはじめ、多くの関係者の皆様からの温かいご支援とご協力のおかげであり、改めて深く感謝申し上げます。

我が国では高齢化の進行に伴い、医療需要の増加が続いております。いわゆる2025年問題は既に現実のものとなり、今後は85歳以上人口のさらなる増加と人口減少が進む2040年以降を見据えた医療提供体制の整備が求められています。このような状況の中で、地域医療を持続可能な

ものとするためには、病病連携・病診連携を一層推進し、地域全体で患者様を支える体制を構築していくことが不可欠であると考えております。

当院は特定機能病院として高度かつ先進的な医療を提供する使命を担う一方で、中南和地域の基幹病院として、地域の医療機関の皆様と連携しながら質の高い医療を提供する責任も負っております。その中で、地域医療・入退院支援センターの役割はますます重要になるものと認識しております。

今後は、紹介患者様のより円滑な受け入れや退院支援、転院調整といった日常業務の充実に努めるとともに、地域の皆様との「顔の見える関係」をさらに深め、信頼に基づく連携体制の強化を図ってまいります。また、デジタルトランスフォーメーション(DX)の活用による効率的かつ質の高い地域連携の実現にも取り組んでまいりたいと考えております。

微力ではございますが、地域医療の発展に貢献できるよう努めてまいりますので、今後とも変わらぬご支援とご指導を賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。



教授就任挨拶

口腔外科

教授 野上 晋之介

このたび、令和8年4月1日付で、奈良県立医科大学口腔外科学講座教授に着任いたしました野上晋之介と申します。私は福岡県出身で、平成18年に九州歯科大学歯学部を卒業後同大学附属病院で1年間臨床研修に励み、平成19年より奈良県立医科大学口腔外科学講座の後期研修医として在籍し口腔外科全般の診断と基本手技を修得するとともに、同大学附属病院救急科・高度救命救急センターでの研修を通じて全身管理を学びました。その後、九州歯科大学で学位を取得し、平成25年より東北大学において臨床・研究・教育に従事しながら研鑽を積み、このたび18年ぶりに奈良の地に戻ってまいりました。専門は顎変形症、顎関節疾患、顎顔面外傷、顎骨再建です。

奈良県立医科大学口腔外科学講座は、令和3年に開講40周年を迎えました。これまで杉村正仁初代教授、桐田忠昭名誉教授が築かれた伝統を継承し、教室のさらなる発展のため診療・教育・研究ならびに教室運営に尽力してまいります。奈良県には歯学部がないことから、本講座が歯科医療における高次医療機関としての役割を担い、地域歯科医療の段階的医療体制の再編と地域特性に応じた医療サービスの提供と均てん化を目指してまいります。

口腔外科の主たる役割は、地域医療を支える診療にあります。その充実のため院内外における医科と歯科の連携を強化し、横断的かつ包括的な診療体制の構築に取り組んでまいります。今後、口腔外科の疾患自体に大きな変化はないと考えられますが、時代の変化に伴い、歯科・口腔外科に求められる役割は変容していきます。こうした変化に対応できる人材育成に努め、地域の口腔外科医療の基盤を堅持しつつ、社会実装を見据えた研究を推進し、その成果を地域社会へ還元してまいります。

これからの歯科医療は、人口減少や超高齢化社会に伴う諸課題に対応するため、歯科医師の働き方改革や医療DXの活用による業務の効率化が求められ、ウェルビーイングの実現に向けた教室運営にも積極的に取り組んでまいります。まだまだ浅学の身ではございますが、奈良県および近隣府県の地域歯科医療の発展のため、なお一層精励してまいります。今後ともご指導ご鞭撻を賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

第8回 連携登録医のつどいを開催いたします！

「連携登録医のつどい」は“顔の見える関係づくり”をモットーとし、登録医の先生方と当院がより緊密な関係を築くことを目的として開催しております。未登録の先生方におかれましては、この機会に連携登録医にご登録いただき、多くの先生方のご参加をお待ちしております。

第8回連携登録医のつどい

令和8年11月28日（土）14時開始

プログラム（予定）

- ・口腔外科教授 野上先生講演
- ・畝傍山キャンパス図書館ツアー
- ・診療科医師との意見交換

対象：連携登録医の先生方、当院医師
申込：10月ごろ開始予定

登録がまだの先生方は、この機会にぜひご登録を検討ください！



「連携登録医」にご登録いただくと…

- 1 地域連携、病診連携、日常の診療に関する情報交換の機会となる「連携登録医のつどい」に参加いただけます
- 2 ご紹介いただいた患者さんのカルテ閲覧や入院中の患者面談等、患者さんの診療情報を共有することができます
- 3 定期的なメールマガジン発信により奈良医大の最新情報や各科、各教室の学術集会の参加案内などをいち早くお届けします。
- 4 登録医紹介患者さんに限り専用電話による直接予約が利用できます



連携登録医の先生方は本学図書館をご利用いただけます

ご利用開始時期はメールマガジンにて改めてご連絡差し上げます。

藤原京をモチーフとした畝傍山キャンパスに「講堂図書棟」として令和7年4月にオープンしました。開放感があふれるデザインで畝傍山が一望できる設計となっており、ゆったりとアカデミアにふれることができます。

今年度の「連携登録医のつどい」では見学ツアーを開催します。連携登録医の先生方は、館内閲覧、図書貸出し等のサービスをご利用いただけます。来場者用駐車場を備えており、車での訪問も可能です。事前申し込み制となりますので、ご希望の先生方はぜひお問い合わせください！



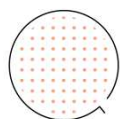
畝傍山キャンパス全景



1階エントランス

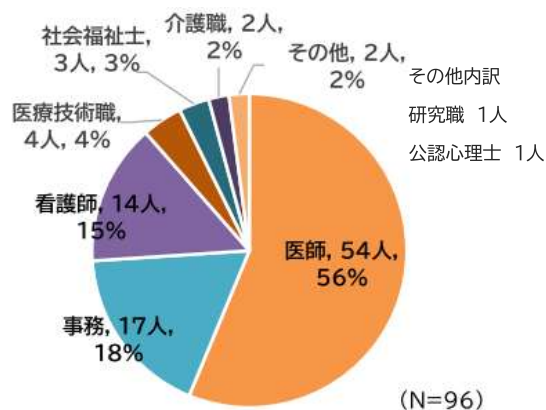


畝傍山が一望できる座席

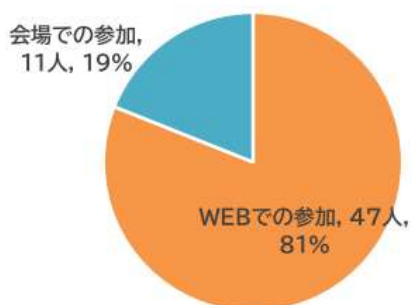


第21回地域連携懇話会を開催いたしました

参加者



参加方法



「地域医療連携懇話会」は地域の医療関係者を対象に、医療の現状や諸課題の情報共有などを目的として開催しています。第21回の開催となった今回も引き続き対面およびWEB配信を併用したハイブリッド開催といたしました。

講演Ⅰでは、本学の医学部看護学科 臨床病態医学教授であり、当院 睡眠医療・呼吸管理センター長の山内基雄先生から、睡眠医療に関する最近の動向と睡眠呼吸障害診療の最先端についてお話しいただきました。

講演Ⅱでは、本学 公衆衛生学教授の今村知明 先生より、地域医療構想や診療報酬改定、かかりつけ医、医療機関の経営悪化と国の対策などの医療を取り巻く施策の現状と今後の方向性についてお話しをいただきました。

当日は医師をはじめ医療関係者の方総勢96名の方にご参加いただきました。アンケートでは「奈良にも先端の睡眠医療を提供していただけるのは大変ありがたい」「厳しい現実をお聞きし、今後の病院運営を考えると背筋が伸びる思いです」等たくさんのご意見・ご感想をいただきました。

お忙しいなか、ご参加ならびにご協力いただきありがとうございました。アンケート結果については当院のホームページに掲載しております。



▲当日の様子



当日の様子

■日時 2026年2月19日（木）14:00～16:00

■会場 奈良県立医科大学蔵書会館 3階

Zoomウェビナー

。 。
プログラム
。 。

【座長】

奈良医大附属病院 消化器・代謝内科 教授

地域連携・入退院支援センター 前センター長

吉治 仁志

■講演 I

「睡眠医療に関する最近の動向と睡眠呼吸障害診療の最先端について」

【講師】

奈良医大 医学部看護学科 臨床病態医学教授

奈良医大附属病院 睡眠医療・呼吸管理センター長

山内 基雄

■講演 II

「地域医療構想や診療報酬改定、かかりつけ医、医療機関の経営悪化と国の対策などの医療を取り巻く施策の現状と今後の方向性」

【講師】

奈良医大 公衆衛生学 教授

今村 知明



奈良医大 医学部看護学科
臨床病態医学教授

奈良医大附属病院
睡眠医療・呼吸管理
センター長

山内 基雄



奈良医大 公衆衛生学 教授
今村 知明



奈良医大附属病院 病院長
吉川 公彦



奈良医大附属病院
消化器・代謝内科 教授
地域連携・入退院支援センター
前センター長
吉治 仁志

次回開催のお知らせ

当院では地域の医療機関・各施設の方々との病病・病診連携の推進を目的として、「地域医療連携懇話会」を例年開催しております。そのときどきに合わせたトピックをとりあげ、講演会やシンポジウムを行っています。

令和8年度は令和9年**2月25日（木）**に開催を予定しております。詳細は追ってご案内いたしますので、皆様のご参加をお待ちしております。

診療科からのお知らせ



精神科

- ・ ギャンブル依存症外来についてのご依頼は通常の予約と窓口が異なりますので、一度地域連携・入退院支援センターまでお問い合わせください。
- ・ 診療科の特性上、初診日は診療に長時間を要します。来院後、予診→検査→本診察となりますが、外来の混雑状況によって本診察が夕方になる場合もございます。ご承知いただきますようお願いいたします。

口腔外科

- ・ 緊急受診が必要と考えられる患者さんのご紹介につきましては、受診前に一度直接口腔外科までご連絡くださいますようお願い申し上げます。

当院受診の際はご予約をお願いします

当院は**原則予約制**です。
今年度から、患者サービス向上及び登録医の皆さまの利便性向上のため、予約枠の拡充に取り組んでおります。

紹介患者さんに安心して受診いただくため、初診予約取得にご協力をお願いします。

予約方法について、詳しくは以下をご覧ください。

<https://hospital.narmed-u.ac.jp/medical/reserve.html>



▲当院ホームページ「予約方法について」

診療科名	拡充状況(週枠数)	実施時期
血液内科	5 → 7(+2)	6/1
口腔外科(抜歯)	6 → 12(+6)	6/15
脳神経内科	13 → 15(+2)	6/30
産科	21 → 24(+3)	7/6
婦人科	20 → 23(+3)	7/6
形成外科	8 → 10(+2)	7/6
皮膚科	20 → 25(+5)	7/13
泌尿器科(小児・一般)	2 → 3(+1)	7/15
耳鼻咽喉・頭頸部外科	15 → 18(+3)	7/27

診療科紹介

リウマチセンター



診療体制

昨年、吉本清巳センター長(写真中央)より奈良県立医科大学附属病院リウマチセンター再開をご報告いたしました。その後、令和7年4月より大阪大学医学部附属病院免疫内科から森田貴義医師(写真右側)が当センターの副センター長・病院教授として着任し、吉本センター長を中心に、整形外科的診療は原副センター長(写真左側)、内科的診療は森田副センター長が中心となり、関節リウマチから膠原病まで幅広い専門診療を行うとともに、地域の先生方との病診連携の充実に取り組んでいます。現在非常勤医師を含めリウマチ専門医11名(指導医8名、日本リウマチ学会評議員2名)が在籍し、整形外科・総合診療科・内科が連携した診療を行っています。

初診予約

初診紹介予約枠として、火曜と木曜に原副センター長を含む整形外科医が担当する診察枠を、そして各曜日に吉本センター長や森田副センター長を含めた総合診療科医や内科医が担当する診察枠を設けております(担当医の詳細は当センターHPをご覧ください)。内科系診察枠では各曜日に複数の担当医が外来診療しており、初診予約対応医師が固定されておりませんので、特定の担当医の診察をご希望の場合は紹介状に担当医名をご記載いただければ可能な限り対応いたします。

診療対象患者

例えば以下のような患者様をご紹介します

- ・朝の強張りや関節・筋肉の痛みを認めリウマチ性疾患や膠原病が疑われる患者さん
 - ・レイノー現象、日光過敏などの皮疹、自己抗体陽性など膠原病が疑われる患者さん
 - ・原因不明の発熱や炎症反応高値など、SLEや血管炎などの膠原病が疑われる患者さん
 - ・生物学的製剤やJAK阻害薬など専門的治療が必要なリウマチ・膠原病患者さん
 - ・合併症があり治療方針に悩まれる患者様や標準的治療で病勢が改善しない患者さん
- *上記は一例であり、診断や治療に迷われる症例につきましても、お気軽にご紹介ください。

診療状況

現在、当センターと総合診療科外来を合わせ約2,000名のリウマチ・膠原病患者様が通院されています。昨年度の紹介患者数は約300例、総合診療科で入院加療を行なったリウマチ・膠原病患者数は約100例でした。入院加療では、SLE、血管炎、炎症性筋炎、成人Still病、TAFRO症候群などの重症例も診療しております。地域の先生方に安心してご紹介いただけるリウマチセンターを目指し、地域の先生方と連携し、それぞれの役割を活かした継続的な診療体制づくりに努めてまいります。診断や治療方針に迷われる症例がございましたら、どうぞお気軽にご相談ください。今後とも何卒よろしくお願い申し上げます。

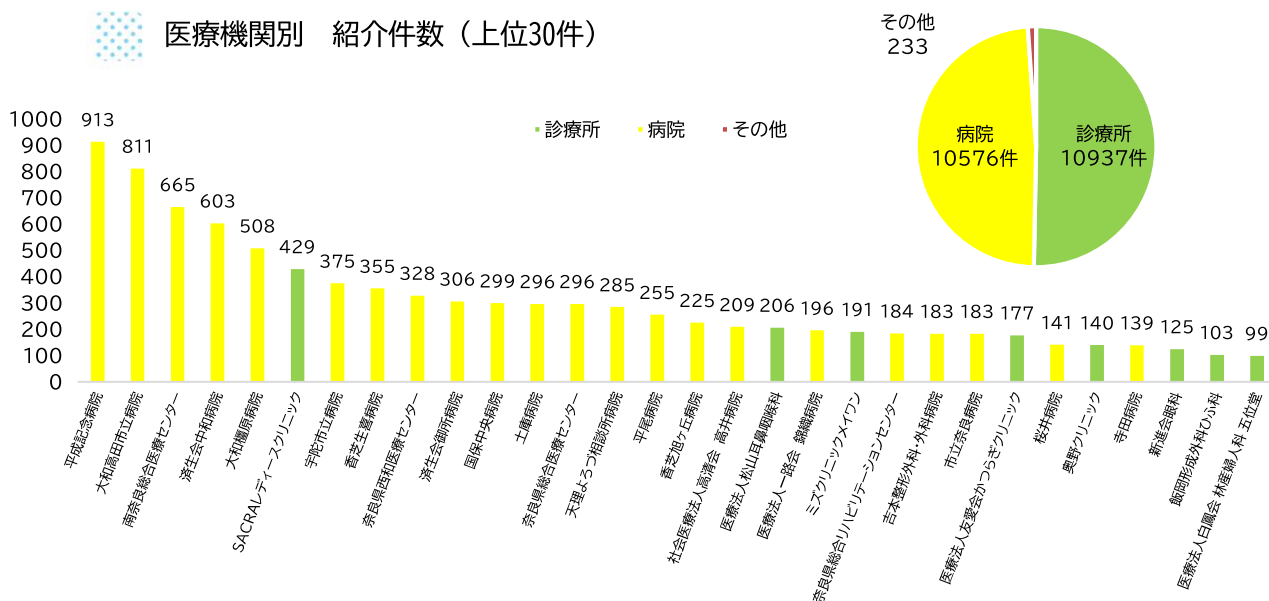
令和7年度 実績

主な項目の推移

	令和6年度	令和7年度	前年度比
初診紹介患者総数	21,271	21,746	102.2
初診紹介予約数	15,803	16,137	102.1
予約取得率	74.4	74.2	0.2ポイント減
逆紹介患者数	23,013	23,595	102.5

初診紹介実績

医療機関別 紹介件数（上位30件）



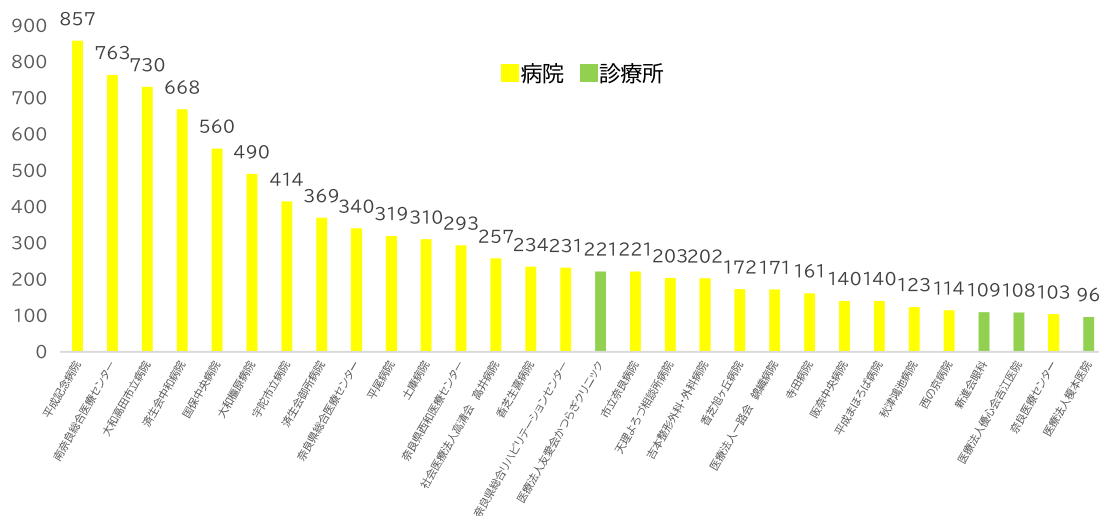
医療機関別 紹介件数（病院・診療所別 上位10機関）

□ …連携登録医

医療機関名(病院)			医療機関名(診療所)		
順位	医療機関名	件数	順位	医療機関名	件数
1	平成記念病院	913	1	SACRALレディースクリニック	429
2	大和高田市立病院	811	2	医療法人松山耳鼻咽喉科	206
3	南奈良総合医療センター	665	3	ミズクリニックメイワン	191
4	済生会中和病院	603	4	医療法人友愛会かつらぎクリニック	177
5	大和豊原病院	508	5	奥野クリニック	140
6	宇陀市立病院	375	6	新進会眼科	125
7	香芝生喜病院	355	7	飯岡形成外科ひふ科	103
8	奈良県西和医療センター	328	8	医療法人白鳳会 林産婦人科 五位堂	99
9	済生会御所病院	306	9	橋本クリニック	92
10	国保中央病院	299	10	板橋医院	91

逆紹介実績

医療機関別 紹介件数（上位30件）



医療機関別 逆紹介件数（病院・診療所別 上位10機関）

□…連携登録医

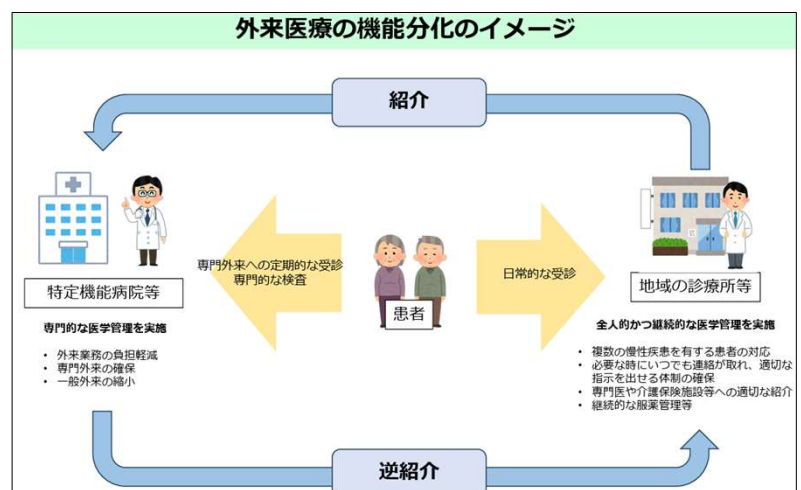
医療機関名(病院)			件数	医療機関名(診療所)			件数
1	平成記念病院		857	1	医療法人友愛会かつらぎクリニック	□	221
2	南奈良総合医療センター		763	2	新進会眼科		109
3	大和高田市立病院		730	3	医療法人優心会 吉江医院	□	108
4	済生会中和病院		668	4	医療法人榎本医院		96
5	国保中央病院		560	5	友愛会 しらかしクリニック		94
6	大和橿原病院		490	6	近藤クリニック 真美ヶ丘腎センター		89
7	宇陀市立病院		414	7	医療法人 翠悠会診療所		88
8	済生会御所病院		369	8	SACRALレディースクリニック	□	87
9	奈良県総合医療センター		340	9	野島眼科		86
10	平尾病院		319	10	橿原かがやき整形外科	□	83

積極的な診療情報の提供に取り組んでいます

令和8年度診療報酬改定において、さらなる外来機能分化が求められています。特定機能病院、地域医療支援病院の逆紹介割合が厳格化されただけでなく、当院からの紹介患者（当院からの診療情報提供書を持つ患者）の初診を行っていただいた場合「特定機能病院等紹介患者受入加算」として、受け手側医療機関に60点が加算されることとなりました。（算定には条件があります。）

この方針を受け、当院においても、ご紹介いただいた医療機関への逆紹介および診療情報提供書発行だけでなく、日ごろから患者さんの生活習慣病等を管理いただいている医療機関（かかりつけ医）の先生方にも、積極的に情報発信を行っていくことといたしました。

趣旨をご理解いただき、ご協力賜りますようお願い申し上げます。



地域連携・入退院支援センターより



今年度より、新センター長として当院循環器内科教授の彦惣先生が就任しました。

地域連携・入退院支援センターではセンター長のもと、副センター長として看護師1名、事務1名の計2名、看護師18名、社会福祉士11名、事務7名、医療事務11名で、患者さんの受診から退院までをシームレスに対応できるよう一丸となって努めてまいります。

開催案内



連携登録医のつどい

令和8年

11月28日(土)

今回は本学新キャンパスの図書館ツアーの開催を予定しております！本誌5ページをご覧ください。



地域医療連携懇話会

令和9年

2月25日(木)

職種に関わらず医療関係者の皆様にご参加いただけます。前回開催案内を本誌8・9ページに掲載しておりますのでご覧ください。

編集・発行 奈良県立医科大学附属病院 地域連携・入退院支援センター

〒634-8522 奈良県橿原市四条町840

TEL (代表) 0744-22-3051 / (直通) 0744-29-8022

FAX 0744-23-9923 URL <https://hospital.naramed-u.ac.jp/>

発行 2026年8月



奈良県立医科大学附属病院
Nara Medical University Hospital